

第六次長期総合計画（策定中）羽村市基本構想の未来をつくる5つのコンセプト
「自分らしく生きる」「成長をはぐくむ」「スマートにくらす」「にぎわいを創る」「くらしを守る」

**市内経済活動の基盤強化や市内産業の活性化を図り、羽村市を訪れる人との交流の輪を広げることで、
 にぎわいがあふれるまちを目指します**

羽村市の経済活動をリードしてきた西東京工業団地の造成から50年が経過し、工場設備の老朽化や、企業の海外進出、輸送網の延伸などの社会の変化により、羽村市の産業を取り巻く環境は、変化の時期を迎えています。市内の産業が元気で、人の交流が盛んであることは、まち全体に活気やにぎわいを与えます。市内には、きらりと光る技術や開発力などを持った魅力的な企業や事業所がたくさんあります。すべての産業が、羽村市で長く活動しながら新たな価値を創造し、羽村市が新たな産業の拠点となることができるよう、また、羽村市を訪れる多くの人が、羽村市の人々と楽しい時間を共有し、交流の輪が広がることで、羽村市に多くのにぎわいが生まれるよう、次のようなことに取り組みます。

① 産業の集積と連携、新たなチャレンジにより、イノベーションを生み出し、新たな価値を創出する

② 「羽村らしさ」を持つ地域資源を生かし、魅力のある産業を創出する

③ 市民と産業、行政がつながり、地域に根差す産業基盤とにぎわいを創出する

ニューノーマルへの対応と
新分野への進出支援

少子高齢化による働き手と消費者双方の減少、また新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞、そしてそれらと同時に進んでいくカーボンニュートラルやCASEなどのこれまでになかった産業の進展が、事業者に変化への対応を迫っている。これらに対応していくために、生産性の向上や商圏の拡大、新たな分野への参入などに対する支援が必要である。

「羽村らしさ」の
ブランディング

羽村の観光資源、商品、事業などが市場の中で選ばれるには、他とは違う、差別化を行う必要がある。今ある特色をより伸ばし、また新たな魅力を立ち上げ、磨き上げることによって「羽村らしさ」を具体的にブランディングすることが必要である。

産業の垣根を超えた
連携の促進

各産業の課題をその中だけで考えずに他産業のリソースを使って解決する、産業ごとの長所をつないで相乗効果を生むことで、新たな価値を生み出す、また各産業の資源を横断的につなぎ、活用することで観光資源とするなど、単一の産業にまたがらない事業・支援策が必要である。

地域に根差すための
安定的な産業基盤づくり

市内で安心して操業し、事業を続けていくために、事業承継や後継者育成、人材確保または周辺環境の整備が必須である。他の支援機関や専門家などとも協力をしつつ、必要な支援を必要な時に受けられるようにしていただきたい。また近年多発する自然災害の際にも事業活動を止めることのないような支援が必要である。

市民と産業、行政の
多様な繋がりづくり

市内に住みながら働き、消費する人が増えれば、労働力の確保と経済の循環の双方が可能となり、それに伴い各産業への理解も進むことから、市民と産業、行政との関係性強化に取り組んでいただきたい。また昨今は副業・兼業の在宅ワーカーも多くなっていると思われ、そういった方々も産業振興・繋がりづくりの一員に加える体制構築もあわせて進める必要がある。